

下松市・記者発表（配布）資料

令和8年2月6日

部 課 名	課 長	担 当 者	連 絡 先 (直 通)
図 書 館	網 本 浩 明	吉 鷹 知 将	4 1 - 0 0 9 3
1. 件 名	「下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブ」の掲載資料追加について		
2. 主催者	下松市立図書館		
3. 内 容	<p>下松の歴史や文化財をインターネット公開している「下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブ」に、新たな資料を追加します。</p> <p>今回追加するのは、天王森古墳出土の「靱（ゆぎ）形埴輪」の3D画像や金製垂飾付耳飾の画像を含めた7点です。</p> <p>先人達の足跡に思いを馳せ、下松の魅力を発見・再発見していただきたいと思います。</p> <p><u>①新規資料が閲覧可能になる日時</u> 令和8年2月6日（金）13時から</p> <p><u>②アクセス方法</u> 下松市立図書館のホームページから「下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブ」にアクセスできます。</p> <p><u>③今回新たに掲載する資料（※詳細は別紙参照）</u></p> <ul style="list-style-type: none">・「靱形埴輪」2点 <天王森古墳出土> 3D画像・「金製垂飾付耳飾」2点 <天王森古墳出土> 写真・「天王森古墳」1点 空撮写真・「三角縁盤龍鏡」解説付きトレース図 1点 <宮ノ洲古墳出土>・「今に残る絵画・水彩画・写真から浮かぶ矢嶋邸の全貌」1点 <戸取征二郎氏作成> 俯瞰図		

令和7年度「下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブ」追加資料一覧

①「鞞形埴輪」2点 <天王森古墳出土> 3D画像

6世紀前半に築造されたとされる天王森古墳（前方後円墳）から出土。

鞞（ゆぎ）は、矢じりを上に向けて矢を納める道具で、背負って持ち運ぶ様子が群馬県太田市九合出土の武人埴輪（国宝）の背などにも表現されている。

継体大王の墓と比定される大阪府高槻市の今城塚古墳に埴輪を供給した、新池埴輪窯跡から出土した鞞形埴輪と酷似している。

②「金製垂飾付耳飾」2点 <天王森古墳出土> 写真

大きい環に「遊環」と呼ばれる小さい環が付属し、この遊環に垂れ下がる飾りが存在していたと考えられる。日本国内での出土は50例ほどしかなく、天王森古墳が造られた6世紀前半の出土に限ると、より一層数が少ない。出土例の約半数が朝鮮半島製であることから、同種の耳飾りが出土する古墳の被葬者は、朝鮮半島との交易など何らかの関わりを持っていたと推察できる。

③「天王森古墳」1点 空撮写真

天王森古墳をドローンで空撮した写真（令和4年2月撮影）。

④「三角縁盤龍鏡」解説付きトレース図 1点 <宮ノ洲古墳出土>

国指定重要文化財の「三角縁盤龍鏡」（宮ノ洲古墳出土）のトレース図を作成し、どのような文様が記されているかを解説したコンテンツ。トレース図は透明度を調整でき、オリジナル画像と見比べながら鑑賞ができる。

⑤「今に残る絵図・水彩画・写真から浮かぶ矢嶋邸の全貌」1点 <戸取征二郎氏作成>

矢嶋邸を描いた水彩画や絵図、写真に基づき、その全貌を俯瞰図に描き起こしたもの。